

業務の概要

第7回全国都市改善改革実践事例発表会「カイゼンまっち in Saitama」

【参加自治体】 27自治体（添付資料のとおり）

発表会場ロビーにて、各自治体の発表資料を展示したブースが設置されていた。



【来場者】 約 500 名（全国の行政関係者、企業関係者、さいたま市民など）

【発表の様子】

※共通するテーマで分類したグループごとに発表。

発表ごとに、全審査委員が札を上げて評価（「マネしたい」「知らせたい」「残したい」）し、グループごとの発表が終了後、審査委員 1 名が講評。



【浜田市の発表】



浜田市は、『他団体との連携』をテーマとするグループで発表し、災害時の給水体制強化のために地元企業やNPOとの協働を図った「北上市」、「はやぶさ」の故郷としてJAXAのある町を全国発信した「相模原市」と同じグループで発表した。

【審査委員講評（浜田市の発表について）】石原審査委員長

PPPについては、官民連携（Public-private partnership）として知られているが、官々連携（Public-public partnership）についても改めて見直されつつある。今後、益々重要となる自治体間連携の大きな流れを象徴した取組みであり、住民と国・県とのパイプ役となる取組みを他の自治体でも参考にしていきたい。



【審査委員長総評】

厳しい経済・財政状況が影響を反映して、経費削減をテーマが多く目に付いた。小規模自治体が知恵を絞り、ITを駆使して少人数で協力して業務遂行する取組みに、地方自治体の力強さを感じた。

浜田市が発表した官々連携についても、今後発展するであろう重要な取組みとして評価したい。



【結果】「連携推進！地域振興で賞」（発表会終了後、懇親会会場にて表彰）



【次回開催地】 「福岡市」に決定。

発表会の休憩時間を利用して、福岡市職員が登壇し、次回開催地を紹介。

